



先日、福岡県太宰府市にある太宰府天満宮に行ってきました。太宰府天満宮は全国天満宮の総本宮であり、御祭神は菅原道真公。学問の神様としては有名ですが文化芸術の神様、厄除けの神様とも仰がれています。

重要文化財の本殿は約120年ぶりの大改修をしており、現在は「仮殿」で参拝者を迎えていました。実はその「仮殿」を見る目的で行きました。令和5年5月より約3年かけて本殿の大改修を始めたそうですが、神様や参拝者にも喜んでもらえる場所にと大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーを務めた藤本壮介氏に依頼したそうです。あの大屋根リングを設計をした建築家です。藤本氏は神社の建築を手掛けたのは今回が初めてということで緑豊かな環境そのものが太宰府を特別なものにしており、それを見捉えれば相応しいものになると考えたそうです。円形の屋根部分に天満宮ゆかりの梅の木をはじめとする60種類以上、21本の木と下草が植えられているそうです。まるで森が宙に浮いているような錯覚になります。この本殿大改修もホームページ上では今年12月下旬までということで当通信を読んでいたときには仮殿はどうなっているかは分かりませんが、まだ見れるのであれば一度行かれてみてはいかがでしょうか。ちなみに万博ロスになった人たちが大屋根リングの建築を少しでも味わおうとして参拝客が急増しているとか。。。

目的は仮殿の見学でしたが参道を歩いていると面白い建築物を見つけました。見慣れたスターバックスの看板が目に入ってきましたが、いつものモダンなスターバックスのイメージとは異なり日本の伝統文化を強く感じさせられるものでした。

すぐにこの建物について調べてみると設計者はあの隈研吾氏でした。隈氏が東京2020オリンピックのメインスタジアムである国立競技場を手掛けたのは有名ですね。

何も知らずに通りがかったただけなのでとても驚きました。しかし、知識も見識もない素人の私を一瞬にして立ち止まらせるところはさすがです。

この建物は「自然素材による伝統と現代の融合」をコンセプトに設計されており、60角の檜材を約2000本使用しているそうで完成から10年以上経っているそうです。さすがに店内は混んでいるかと思いきや意外と空いていました。しかし、参道を挟んで反対側には写真を撮っている人でごった返していました。

